

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 北九州市立 藍島小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒802-0091

福岡県北九州市小倉北区藍島246番地の3

E-mail aishima-e@kita9.ed.jp

Website http://www.kita9.ed.jp/aishima-e/

幼児児童生徒数 男子 10名 女子 4名 合計 14名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「ふるさと藍島を愛し、豊かな心とたくましく生きる力をもった子どもの育成」を学校理念として、ESDを藍島の自然を愛し、藍島に生きる人々とのつながって学習する場と捉え、ESDの実践を通して、他者とのコミュニケーションの力、つながりを尊重する力の育成を目標とした。

具体的には、①環境に係わる活動として、島内清掃、海岸清掃②地域文化に係わる活動として藍島盆踊り、③生物多様性に係わる学習として、藍島の動植物再発見の学習を行った。

① 環境に係わる活動

藍島の環境をよりよいものにするために自分たちの力では何かを考え、学期に1回(年3回)の島内清掃、年2回の海岸清掃に取り組んだ。海岸清掃では、集めたごみを環境センターまで運ぶ(漁船で運んだ)ことを通して、社会科の学習に結びつけるようにした。また、自分たちの集めたごみが実際に漁船で運ばれている様子を見て、次の清掃活動に対する意欲を高めていくことができた。

② 地域文化に係わる活動

今年度も年間を通して、クラブ活動で「藍島盆踊り」に取り組んだ。児童にとって、「藍島盆踊り」は身近な存在になっており、小学校で保存会の方や上級生から学んでいくもの、運動会、学芸会、8月14日に行われる盆踊りでこれまでの成果を島民に披露するものと思っている。また、保存会の方からの指導を受けていく中で、島民としてできるようにならなければと自然に意識するようになってきている。上級生は、これまでに学んできたことを下級生に意欲的に教えている。下級生は、上級生になったら、自分たちも三味線や太鼓をできるようになりたいという思いをもって取り組んでいることを感じている。今後は、「藍島盆踊り」の生まれた歴史的背景、島民たちの思いに迫れる学習展開ができるようにしていきたい。

③ 生物多様性に係わる学習

エコプラン研究所の溝手先生を講師として、藍島の動植物についての学習を行った。1回目は、6月に実施し高学年は、投網で磯辺の生物を捕まえて観察を行った。低学年は、島の珍しい植物を見て回った。2回目は11月に実施し、教室で「藍島の植物の種の不思議な性質」について学習した。溝手先生は、事前に島で動植物の調査を行い、その結果発見したことを授業に活用していただけるので、情報が最新のものになり、とても興味深い内容である。藍島には、多くの希少生物が生息している。そのことを学習することにより、藍島への愛着を深め、さらには環境学習にもつながっていくと考えられる。次年度は、総合的な学習の時間の単元構成を見直し、児童が主体的によりよい藍島にしていくために何をしていけばよいのか考え、実践していき



① 海岸清掃の様子



② 藍島盆踊りの活動の様子



② 藍島盆踊りの活動の様子



③ 藍島再発見の学習の様子

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

環境に係る「島内清掃」、「海岸清掃」、生物多様性に係る「藍島の動植物再発見」は、総合的な学習の時間に位置付けている。以前は、単に活動だけを位置付けていたのであるが、なぜ、この活動をしていくのかを自分たちから考えて活動していく必要性を考え、環境は、「よりよい藍島にするために」、生物多様性は「藍島の生き物再発見」という単元を設定し、児童自らが主体的に活動していけるように授業の進め方を見直し、指導方法の工夫改善に努めた。また、地域文化に係る「藍島盆踊り」は、特別活動のクラブ活動の時間に位置づけ、月に1回10時間を設定している。盆踊り保存会の方に講師に来ていただき、技術的な指導を受けている。また、クラブ活動は、児童による進行の形態にし、主体的に伝統文化を受け継いでいく意識を高めていけるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

組織的かつ継続的に取り組んでいけるように、年度当初に昨年度の取組を振り返り、今年度の活動をどのようにしていくのかを全職員で確認する時間をとっている。また、活動ごとに振り返りを行い、次年度よりよいものとなるようにしている。地域の方々との協力が不可欠なことから、親教会（PTA）総会、理事会のときに今年度の取組を確認し、どのような協力体制でいくのかを確認している。学校、保護者、地域の方が一体となって取り組んでいけるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

内部評価としては、学期が終わるごとに職員に自己評価をしてもらい、反省会を行っている。評価は、項目毎に4段階評価をってもらうことと、自由に記述をしてもらっている。外部評価としては、学期ごとに保護者アンケートを行い、活動の評価をもらっている。成果としては、島ならではの取組ができていること、反省としては活動ありきとなっていて、児童の主体性が活かしきれないことがあげられる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

北九州市のユネスコスクール推進指定校連絡会において、各校の取組についての情報交換、ESD 推進の課題と今後の方策について協議を行った。
また、連絡会で「北九州市ESDプログラム」を作成について確認し、実践を「北九州市ESDプログラム」にまとめ、北九州市ユネスコスクール推進指定校の実践を全市、小中学校に発信をした。本校の取組を全市の小中学校に認知されたことで、情報交換をする機会が増えた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

北九州市港湾空港局 整備保全部 計画課の「みなとや海辺の活動支援」の取組に応募している。その参加活動団体と「うみ研」という交流会を通して交流し、ネットワーク形成をしている。活動の情報交流だけでなく、今後、講師として来てもらうなど連携をしていく予定である。また、エコプラン研究所、マリンワールドと連携し、「藍島の動植物再発見」「スナメリウォッチング」の学習のときに、協力していただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

北九州市のユネスコスクールとは、教育委員会主催の連絡会議を通して交流を行っている。国外のユネスコスクールとは、現在交流がない。国際理解の取組をしていくときに考えていきたい。国内の他のユネスコスクールとは、今回、全国大会の発表をする機会を得て、全国から参加してきた教職員と交流することができた。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ユネスコスクールの活動をしていくことで、保護者からは「島ならではの体験」を取り入れていることに対して大変評価をいただいている。また、地域の方々、保護者、学校の3者が一体となって取り組んでいるので、結びつきが強まり信頼関係ができています。「藍島盆踊り」をしていくことで児童に島の伝統を受け継いでいくという意識が自然とできているところに効果を感じる。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度は、大きく3つの活動を計画している。環境の取組として、「島内清掃」、「海岸清掃」、地域文化に係る取組としては、「藍島盆踊り」、「魚釣り・干物体験」、生物多様性の取組として「藍島の動植物再発見」である。特に、藍島の動植物再発見の活動では、「スナメリウォッチング」を計画している。藍島近海に住むスナメリに着目することで、海がきれいであることを再認識し、そこからふるさと藍島に対するシビックプライドを醸成していきたい。また、30年度は、交流している河内小学校が、藍島小学校に来校し活動する予定である。藍島ならではの体験をしてもらうだけでなく、藍島のよさを伝え、実感してもらえようように何をしたらよいか児童が主体的に考え、実践できるように単元構成、指導方法を考えていきたい。